

# 自然療法

## 移り変わる医療



大谷中学校 14歳の挑戦  
この記事は14歳の挑戦の一環として、大谷中学校の生徒たちが取材をして、記事を書きました。

TAKE FREE  
Vol.118

おやベローカルかわら版

発行：ELABO（イーラボ）  
印刷：ヤマシナ印刷株式会社

十四歳の挑戦三回目。  
僕たち私たちは、自然の物を使った医療のお話を伺いに、藤田健太郎さんに取材にいきました。  
まず初めに、身体のことについて教えていただきました。「血管を拡大してみるとアマゾン川にそっくり」「人間の骨を拡大したら岩にそっくり」「人間の血管が地球の2周半ある」など、人間の身体と自然が意外にもとても近いものだと、いうことを教わりました。



次に、豆腐を使った豆腐湿布やコンニャクを使ったコンニャク湿布などを作って実際に体験してきました。

豆腐湿布は、熱を冷ます働きがある一方で実際に使用してみるととても冷たくて気持ちよかったです。コンニャク湿布は疲れや冷えに効果があり身体の中から温まってきた感じよかったです。



次に、薬草になる雑草の話をしていただきました。実際に家の庭にあるそうでみんなが摘みにいきました。スギナやドクダミやヨモギなどがありました。においやどのような効果的かなど詳しく教えていただきました。いろいろな薬草の話が聞けてよかったです。

また、今度道に落ちてたりしたらみんなに教えてあげていなと思いましたが、例えばドクダミにはニキビやうみに効果が有りヨモギはむしびにこうかがあるそうです。  
その、摘んだ薬草で足湯に入ったり、玄米を試食させていただきました。足湯は、生姜や薬草などが入っていました。とても温かくて気持ちよかったです。玄米は白米にはない栄養がたくさん含まれているのすごいと思いました。

そんな、いろいろ教えて下さった藤田さんに働くということとは？「仕事とは？」という質問をしました。「働くというのは人の為に尽くすということです。仕事は生きがいです。」

現在では機械を使った医療が普通だけど自然のものをを使った医療の話聞いてあまりにたよりすぎてはいけないと思いました。

普段は絶対に体験できないような事や聞けないような話が聞けてよかったです。藤田さんありがとうございました。



■藤田健太郎  
1978年4月6日生。

医療の分野で多くを人に頼る事なく、自分で自立循環していきける世の中を作りたい。たいま行動しながら、やり方を模索中。医療と食糧、エネルギー、住居、衣類などの自立循環とは密接に関わると考え、他分野とも交わる事で大きく進めそうです。同じような事を考え、すでに行動している仲間に出会えたら嬉しいですね。